

2016 年度組織調査部報告
「簡易呼吸モニター使用状況」

アンケート回収率 71.5% (143 施設)

① 「簡易呼吸モニターを使用していますか」

あり 129 施設 (90.2%)

なし 14 施設 (9.8%)

② 「機器タイプ」

タイプ 3 113 施設 (62.4%)

タイプ 4 68 施設 (37.6%)

③ 「保有形式」

購入 156 施設 (81.7%)

レンタル 35 施設 (18.3%)

④ 「使用目的」

PSG 事前検査 99 施設

重症 SAS 診断 75 施設

SAS 治療フォロー 64 施設

スクリーニング 5 施設

マウスピース効果判定 5 施設

健診 3 施設

その他 16 施設

⑤ 「解析方法」

手動解析 107 施設 (77.0%)

自動解析 31 施設 (22.3%)

不明 0.7%

⑥ 「解析者」

フル PSG 経験あり
(睡眠学会認定技師) 31.7%

フル PSG 経験あり
(睡眠学会認定技師ではない) 37.8%

フル PSG 経験なし 20.6%

委託業者 9.4%

自施設医師 0.6%

⑦ 「検査件数/月」

0~5 件 77 施設

6~10 件 39 施設

11~20 件 33 施設

21~30 件 8 施設

30 件以上 10 施設

⑦ 「問題点」

装着 48 施設 (36.7%)

解析 46 施設 (37.8%)

その他 32 施設 (25.5%)

〈装着〉

- ・自宅で患者自身が装着の為フロー、SpO2 など装着不良が多い(小児、高齢者が多い)

- ・電極サイズが合わない(小児)

鼻口圧センサー：口呼吸が不安定

- ・装着説明の理解力不足(小児、高齢者)

電源ボタンの取り扱い、勝手に電源 OFF など

〈解析〉

- ・波形の信頼性・・・装着に起因

- ・アーチファクト鑑別

- ・判断材料(脳波、画像等)が少ない

- ・解析区間に苦慮(入眠、覚醒判断困難)

- ・基準は系の選び方

- ・統一されたマニュアルが欲しい

〈その他〉

- ・機器の返却遅延、未返却

- ・機器破損

- ・機器の自動解析アルゴリズム

- ・紹介元との値の乖離

- ・フル PSG 経験の有無でコメントに差が出る

簡易呼吸モニターは様々な使用目的で実施されており、解析において、7 割程度が自施設のフル PSG 解析経験のある技師による手動解析が行われており、一定の精度は保たれていると思われる。

簡易呼吸モニターで困っている点として、センサー外れや判定マニュアルがない、情報量が少ないため解析に苦慮するなどが挙げられた。

今回の調査は、PSG 研究会会員施設に対して実施されていることにより、簡易呼吸モニターのみを活用している非会員施設の状況は反映されていない。

ご協力ありがとうございました。